



SSHレターズ

長崎県立 大村高等学校

最先端の学びを日本の西端から創造する。
学びの“SHINKA”がここから始まる。

2巻/4号 2023/8/9

◆ SSH 科学研究・課題探究発表会（シーハットおおむら メインアリーナで開催）

実施日： 7月20日(木) 午前 口頭発表、午後 ポスター発表

目的： 理科部生徒が2年半取り組んできた科学研究、3年生数理探究科・普通科の生徒がSS探究の授業で約1年半取り組んできた課題探究の成果発表の機会とする。

参加者： 本校全生徒・職員、市役所など外部総勢約100名程度
(校外：運営指導委員の先生方、他校の県立学校の先生方、3年生の保護者、大村市内の中学生とその保護者)

午前中の口頭発表では、自身の研究成果を、下級生や外部の方々に自信をもって堂々と発表していました。午後からの口頭発表では、普通科文系、普通科理系、数理探究科、理科部から一班ずつが発表を行いました。どの班の発表も運営指導委員の先生方からお褒めの言葉を頂くとともに、今後の進展に期待を寄せていただきました。

コロナ禍ではありますが、全校生徒が一堂に会し、外部から多くの来場者をお招きしての開催が実現でき、発表した3年生や参観した1、2年生にとって大変貴重な1日になりました。



◆ 探究PFI ～課題発見セミナーI～ ミニ課題研究を充実させよう！

日時：7月6日(木) 5・6・7校時

対象：1年生全員

実施方法：9講座から1講座を選択して受講

目的：(1)最先端の科学技術や身の回りの事象についての興味関心や問題発見力を高めること。
(2)外部機関と連携し、テーマ設定や探究手法の基本を身につけること。

1年生は、7月末から来年度の探究活動に向けた準備である「ミニ課題探究」に取りかかります。今回の連携講座で講師の先生方の熱のこもった講義に刺激を受け、「ミニ課題探究」が充実したものになることを期待します。

◆ SS 探究II 大学セミナー

日時：令和5年7月12日(水) 2・3・4校時

目的：将来の生き方を考える1つのきっかけとして、生徒それぞれが興味のある学部・学科の模擬授業を受講することにより、生徒自身の進路意識の高揚を図る。また、生徒自身の進路意識を高揚する。

対象：2年生全学年



◆ 探究PFIIC 放射線セミナー

日時：6月30日(金) 午後

対象：2年生家政科 35名

講師：長崎大学原爆後障害医療研究所
松永 妃都美 氏

実習：霧箱による放射線の観察、
校内様々な場所で放射線の測定
講義：原発事故や風評被害等について



放射線の種類や性質、透過性などの説明がありました。また、霧箱で使用する線源の安全性についても十分な説明を受け、生徒は不安無く取り組むことができました。線量計「はかるくん」を使って各自1台持ち、校内の様々な場所の放射線量を測定しました。普段の生活空間にある放射線の存在や放射線は喚起が悪い所で線量が高くなることなど、実際に測定で確認することができました。

◆ 探究PFI 校外研修

日時：7月4日(火) 5・6・7校時

対象：1年生文理探究科 80名

研修場所は個人が興味を持った2カ所の研修場所を選択し、長崎県環境保健研究センターと長崎県工業技術センターの2カ所で行いました。環境保健研究センターでは、長崎県気候変動適応の取り組みである品種改良や技術開発について説明があり、水質の実験をさせていただきました。工業技術センターでは、センターの概要の講義、基盤技術部内のシールドルーム、無響室等の5つの部屋を訪問し、精度の高い検査機器等を間近で観察しました。

